

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 12 月 21 日 (2017.12.21)

【公表番号】特表 2016-526771 (P2016-526771A)

【公表日】平成 28 年 9 月 5 日 (2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2016-053

【出願番号】特願 2016-523652 (P2016-523652)

【国際特許分類】

H 0 1 M 10/0562 (2010.01)

H 0 1 M 10/052 (2010.01)

H 0 1 M 10/058 (2010.01)

H 0 1 B 1/06 (2006.01)

H 0 1 B 1/08 (2006.01)

H 0 1 B 13/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 10/0562

H 0 1 M 10/052

H 0 1 M 10/058

H 0 1 B 1/06 A

H 0 1 B 1/08

H 0 1 B 13/00 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 29 年 11 月 9 日 (2017.11.9)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 1 6 】

製造方法においては、前記錯化剤は 5 規定 (N) 濃度のアンモニア水が用いられ、前記水溶液の pH が 10 ~ 11 の溶液になるよう前記錯化剤を混合する。例えば、前記出発物質と錯化剤を混合するステップは、前記出発物質を 4 ml / min の速度で滴定し、同時に前記錯化剤を 4 ml / min の速度で滴定してもよい。そして、前記沈殿物を形成するステップにおいて、pH 調節のために NaOH 溶液を添加して、前記 NaOH 溶液は 1 モル濃度で形成され、共沈反応が進行するにつれ、共沈反応器の pH 変化によって自動的に滴定されてもよい。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 2 6 】

共沈反応器において、約 500 ml の蒸留水と準備された NaOH で pH を 11 レベルに調節し、共沈反応器のインペラ速度を約 1000 rpm に設定する。共沈反応が始まると、出発物質は約 4 ml / min の速度で滴定し、同時に錯化剤として準備されたアンモニア水を同一の 4 ml / min の速度で滴定する。また、共沈反応が進行するにつれ、反応器の pH 調節のために上述の準備された NaOH 1 モル溶液を共沈反応器の pH 変化によって自動的に滴定されるよう設置する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 2】

前記錯化剤を混合するステップは、出発物質を 4 ml/min の速度で滴定し、同時に前記錯化剤を 4 ml/min の速度で滴定する請求項 1 1 に記載のリチウム二次電池用固体電解質の製造方法。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1 3】

前記沈殿物を形成するステップにおいて、 pH 調節のために水酸化ナトリウム (NaOH) 溶液を添加して、前記 NaOH 溶液は 1 モル濃度で形成され、共沈反応が進行するにつれ、共沈反応器の pH 変化によって自動的に滴定される請求項 1 1 に記載のリチウム二次電池用固体電解質の製造方法。